



女性のお酌 欧米はNG

第5回、6回とお客さまをご案内する時の席次についてお話しいたしました。今回は席に着いたお客様をおもてなしする宴席でのマナーについてお話ししたいと思います。

ビールを注ぐ際のマナー



左手で瓶の下を支える

ラベよつ
持たないで
右手で

口に
注ぎ
グラスに
注がない
のグラスを
瓶を当てる

受け手は必ずグラスを
手に持って受ける

たいへん恥ずかしい思いをしたことがあります。日本の宴会時に普段やっているのと同じように参列者にお酌をしていたら、米国人外交官が「NO」と言っていて私の手からビール瓶を取り上げました。何が起きたかわからずキョトンとしていたら「女性がそんなことをするものではない」と強く諭されました。レディーファーストの欧米では公共の場所です女性が男性にお酌するのはNGだったのです。日本においては女性が

注ぐ方も注がれる方もマナーを

◆江上いずみ 慶大法学部卒。JALの客室乗務員として30年間で約1万9000時間乗務。13年にグロームバルマナースプリングス設立。15年から筑波大客員教授。大学や官公庁、企業などで「グローバルマナーとおもてなしの心」などの講演を手がける。

注ぎするのも「おもてなし」の表現として十分考えられるので、「欧米では女性が酌する習慣はない」ということを頭の片隅に置き、時と場合に応じて臨機応変に対応したいと思えます。その注ぎ方、注がれる方もマナーがあります。お酒を注ぐ時は相手の前から注ぐのが基本ルールで

から「失礼します」と一声かけること、相手にマナーの心得のあることをさりげなくアピールできます。まず注ぐ際のマナーとして、ビールやワインのボトルは上に向けたラベルを隠さないように右手で持ち、左手で瓶の下側を支えます。左手で瓶を持ち、右手が下にくる「逆手の逆注ぎ」は大変失礼です。また瓶の注ぎ口をグラスに当てて「カチン」と音をさせてはいけません。

注がれる方にもマナーがあります。ビールや日本酒は杯をテーブルに置いたまま注ぐ「置き注ぎ」はNGです。必ず杯を手にとって受けるのが基本です。日本酒の杯は親指と人さし指で上部を持ち、中指で下を支えるように持ちます。一方、シヤンパンやワインを注いでもらうときはグラスを持ち上げたり手をかけたりするのはマナー違反です。テーブルに置いたままの状態では注いでいただき、目を合わせ感謝の気持ちを表現しましょう。(筑波大客員教授)